三沢市議会だより

きずな

市議会の活動をわかりやすくお伝えします。

2017.5.1. No.41

● CONTENTS ●

特集 …… P2
定例会開催 …… P4
一般質問 …… P8
委員会活動 …… P11
視察報告 …… P13

特集　夢に向かって　古間木レンジャーズ

議会だよりの特集記事は、市内で活動しているスポーツ少年団を中心に取り上げています。
今回は、古間木レンジャーズです。

特集 夢に向かって Part 11

古間木レンジャーズはチームの指導方針である「礼に始まり礼に終わる」をモットーに、真にスポーツマンシップを発揮し、校内外での挨拶を励行しています。

平成28年度は、ＪＡおいらせ杯野球大会で第3位の成績を収めています。

長い歴史を持った古間木レンジャーズですが、近年古間木小学校の児童数の減少に伴い、女子2名を含む16名の部員が、新年度にはチーム登録に必要な10名を下回る状況になることから、今後は上久保小学校との合同チーム（ＦＫクラブ）を結成し大会に参加することになりますが、「メンバーみんなが中学校に行っても野球を続け、夢を追い続けると言ってくれている。」と今村コーチの顔がほころんだことや、楽しそうに練習に打ち込んでいた子ども達の姿が深く印象に残りました。

子供たちにインタビューしました。
①目標は？
②将来の夢は？
③夢に向かって努力していることは？

※学年は取材時（平成29年3月）時点を記載。

尾形（おがた） 聖（ひじり）（1年生）
①試合に出て優勝したいです。
②プロ野球選手になりたいです。
③毎日の練習をきちんとやって体力づくりをしています。

土嶺（つちみね） 瑛太郎（えいたろう）（2年生）
①ホームランを何本も打てるようになりたい。
②コックさん
③お母さんのお手伝いをたくさんしています。

今村（いまむら） 聡明（さとあき）（3年生）
①大谷選手みたいな二刀流です。
②プロ野球選手です。
③毎日家で50回素振りをしています。

土嶺（つちみね） 雪乃（ゆきの）（4年生）
①練習をたくさんしてヒットやホームランを打つことです。
②ヘルパーになって、おじいちゃんやおばあちゃんのお世話をしたいです。
③あきらめないで最後までやり通すことです。

尾形（おがた） 佳記（かなる）（5年生）
①青森県の選抜になること。
②三沢市出身のプロになること。
③毎日ストレッチや、体力づくり、基礎の練習をしています。

日向（ひむかい） 聖河（せいが）（6年生）
①打順を上げてヒットをたくさん打つこと。
②検事
③勉強に進んで取り組んでいる。

古田（ふるた） 敦久（あつひさ）（6年生）
①中学に行っても練習を一生懸命頑張る。
②人を助ける仕事
③一つ一つの経験を大事にして、人助けに役立たせたい。

練習の最後には、子ども達の「ありがとうございました。」のさわやかな声が体育館に響き渡り、新たな形で夢を追い続ける子どもたちに、真にエールを送りたいと思いました。
私たち議会も、子ども達の夢の実現に向けて、努力して参ります。

平成29年第1回定例会

会期11日間　3月6日～3月16日

今回の議案等

市長提出議案…３２件

平成29年度一般会計、各特別会計及び企業会計の予算を審査

一般会計予算は、三沢市総合振興計画後期基本計画の実施計画を予算編成に反映し、市政発展に不可欠な事業予算の確保に努めたこと、また大型事業の終了などによる結果、総額221億4千300万円、前年度比7・3％減となっています。

その他特別会計、企業会計の予算は次のとおりです。

【議案第1号】
一般会計予算
221億4千300万円
（前年度当初予算比7・3％減）

【議案第2号】
国民健康保険特別会計予算
47億1千145万1千円
（前年度当初予算比0・1％増）

【議案第3号】
食肉処理センター特別会計予算
10億1千317万3千円
（前年度当初予算比2・31％増）

【議案第4号】
農業集落排水事業特別会計予算
2億3千451万2千円
（前年度当初予算比1・9％増）

【議案第5号】
下水道事業特別会計予算
18億4千761万8千円
（前年度当初予算比4・5％増）

【議案第6号】
介護保険特別会計予算
36億3千593万円
（前年度当初予算比2・5％増）

【議案第7号】
後期高齢者医療特別会計予算
3億6千136万8千円
（前年度当初予算比0・4％増）

【議案第8号】
水道事業会計予算
11億8千964万6千円
（前年度当初予算比2・2％減）

【議案第9号】
三沢市立三沢病院事業会計予算
63億3千996万5千円
（前年度当初予算比1・5％減）

予算審査特別委員会
3月13日開催

平成29年度予算について、予算審査特別委員会（議長・副議長を除く16名の委員）を設置し、審査いたしました。主な内容を紹介します。

Q 立地促進奨励金（3億5千656万2千円）の内容、効果について

A 企業が工場や事業所などを新設する際の建物や機械器具の取得費に対する市から企業に対する奨励金です。市民の一定数雇用が条件であり、市民の雇用創出が一番の効果です。企業にとっては、初期投資の負担軽減になり、市内での操業に役立っています。

Q 市の実質公債費比率と健全財政のボーダーラインについて

A 実質公債費比率は低いほど健全財政と言え、18％以上だと新たに借金をするのに国の許可が必要となり25％以上で借金の制限を受けます。市の平成28年度比率は11・1～2％の見込みで、近年減少（改善）傾向にあります。

Q がん対策事業費（6千318万6千円）が前年度と比べ1千万円ほど減額となっている理由について

A PET―CT受診者の減少（平成27年度受診者132名、平成28年度受診者38名（平成29年2月末時点））及び制度改正により、子宮がん、乳がん検診者に対するクーポン券助成の対象年齢が狭まったことが主な理由です。今後も受診率向上のため、健康ポイント事業など各種事業により受診啓発に努めて参ります。

Q 特殊地下壕対策事業（1千598万3千円）の概要について

A 三沢公園内で、戦時中につくられた防空壕跡が発見されたため、埋め戻しするものです。

予算審査特別委員会の様子
手前側 議員　　奥側 市長ほか市職員

総括質疑

定例会に提出された議案について、疑問点や不明点を、議場で問うことを質疑と言い、総括質疑は大綱について質疑が行われます。

山本彌一議員

【議案第1号】平成29年度三沢市一般会計予算（第1号）について

Q 最終年度となる三沢市総合振興計画実現とその総括を問う。

A これまでアメリカ村の整備、市立三沢病院の移転新築、南ニュータウンの整備等さまざまな事業に取り組んで参りました。

最終年度となる平成29年度は（仮称）子ども館や（仮称）国際交流スポーツセンター整備事業、子ども医療費所得制限撤廃等の予算を計上し、「人とまち　みんなで創る　国際文化都市」の実現に向け市政運営に取り組んで参ります。

市民アンケートなどでは、「三沢市は住みやすい」「三沢市に住み続けたい」と一定の評価もある中、今後更なる市政発展に向け、市民の皆様のご意見を拝聴しながら、次期計画を策定して参ります。

【議案第32号】人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

（任期　平成29年7月1日～平成32年6月30日）

佐々木（ささき）純一（じゅんいち）氏（新任）

【人権擁護委員とは】

人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をしている民間ボランティア。

市長が地域の候補者を選び、議会の意見を聞いた上で法務局へ推薦します。

平成29年第1回定例会
議員別議案等賛否一覧表

○ ・・・賛成　　反 ・・・反対　　欠 ・・・欠席　　退 ・・・退席

除 ・・・除斥（地方自治法第117条の規定により、審議事件と一定の利害関係を有するため審議に参与することができない者）

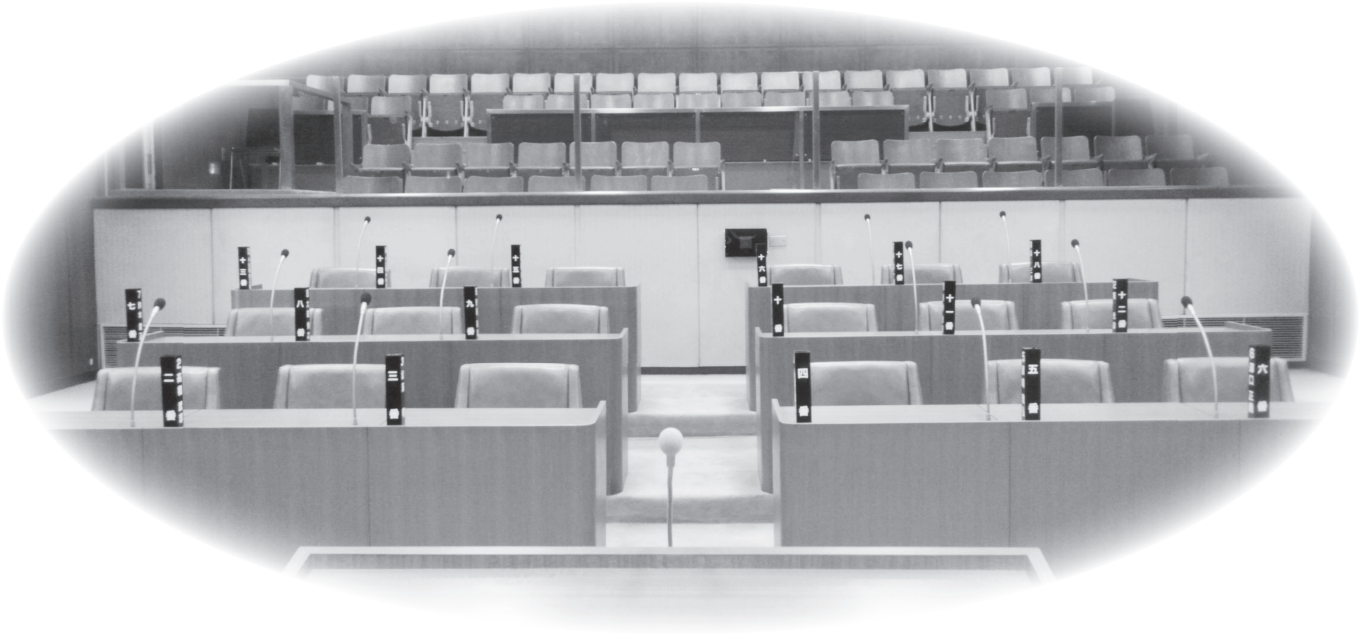
― ・・・議長は採決に加わりません。ただし可否同数の場合のみ表決権があります。

種別	議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	小比類巻正規	田嶋孝安	佐々木卓也	下山光義	遠藤泰子	瀬崎雅弘	澤口正義	加澤明	西村盛男	太田博之	堀光雄	春日洋子	小比類巻雅彦	舩見亮悦	馬場騎一	山本彌一	堤喜一郎	森三郎
当初予算案	議案1	平成29年度三沢市一般会計予算	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案2	平成29年度三沢市国民健康保険特別会計予算																					
	議案3	平成29年度三沢市食肉処理センター特別会計予算																					
	議案4	平成29年度三沢市農業集落排水事業特別会計予算																					
	議案5	平成29年度三沢市下水道事業特別会計予算																					
	議案6	平成29年度三沢市介護保険特別会計予算																					
	議案7	平成29年度三沢市後期高齢者医療特別会計予算																					
	議案8	平成29年度三沢市水道事業会計予算																					
	議案9	平成29年度三沢市立三沢病院事業会計予算																					
補正予算案	議案10	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度三沢市一般会計補正予算（第5号））	17	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案11	平成28年度三沢市一般会計補正予算（第6号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案12	平成28年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）																					
	議案13	平成28年度三沢市下水道事業特別会計補正予算（第2号）																					

種別	議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	小比類巻正規	田嶋孝安	佐々木卓也	下山光義	遠藤泰子	瀬崎雅弘	澤口正義	加澤明	西村盛男	太田博之	堀光雄	春日洋子	小比類巻雅彦	舩見亮悦	馬場騎一	山本彌一	堤喜一郎	森三郎
補正予算案	議案14	平成28年度三沢市介護保険特別会計補正予算（第3号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案15	平成28年度三沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）																					
	議案16	平成28年度三沢市立三沢病院事業会計補正予算（第2号）																					
条例案	議案17	専決処分の承認を求めることについて（三沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	17	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案18	専決処分の承認を求めることについて（三沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について）																					
	議案19	用品調達基金の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案20	三沢市ふるさと活性化基金条例の一部を改正する条例の制定について																					
	議案21	三沢市税条例等の一部を改正する条例の制定について																					
	議案22	三沢市民プール条例の一部を改正する条例の制定について																					
	議案23	三沢市南山多目的ふれあい広場条例の一部を改正する条例の制定について																					
	議案24	三沢市子ども医療費給付条例の制定について																					
	議案25	三沢市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について																					
	議案26	三沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について																					
	議案27	三沢市農業委員会委員候補者選考委員会条例の制定について																					
	議案28	三沢市農地利用最適化推進委員候補者選考委員会条例の制定について																					
その他の案件	議案29	財産の処分について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案30	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について																					
	議案31	青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更について																					
	議案32	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	17	0	同意	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一　般　質　問

平成 29 年第１回定例会では４名の議員が市政に対する一般質問を行いました。



佐々木　卓也　議員

Q 生活困窮者自立支援法の施行から約２年経過したが、三沢市の取り組み状況について伺う。

A 専門の支援相談員１名を配置し、自立相談支援事業と住居確保給付金事業を実施しています。

Q 貧困の世代間連鎖を断ち切る、将来の貧困を防ぐという観点から、生活困窮世帯の子どもの学習支援や居場所の提供、進路相談、高校中退防止のための個別相談などを行う「学習支援事業」を実施してはどうか。

A 関係機関と協議し、実施について検討して参ります。

Q 早期発見・早期支援のため、制度のきめ細やかな周知が必要と考えるが。

A 民生委員・児童委員、市内の社会福祉施設等を通じ、周知拡充に努めて参ります。

Q インバウンド（外国人旅行者）対策を戦略的に進めていくことが、観光・交流人口拡大による地域の活性化につながっていくと考えるが、市の見解及び今後の対策について伺う。

A インバウンド施策の推進は持続可能な経済構造を構築していく上で大変重要なことから、今後関連事業者を対象としたセミナーの開催、外国人向け看板の整備等による受け入れ態勢の充実、観光素材の磨き上げ、観光ルートの構築などを進め、新規誘客の促進やリピーターの獲得を図り、経済効果を更に向上させて参ります。

加澤　明　議員

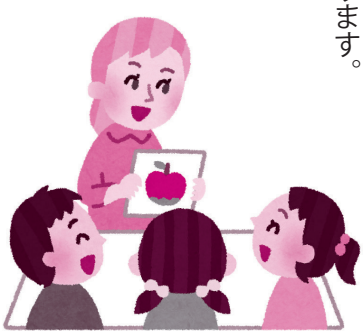
Q 第一次・第六次産業の海外への販路推進の取り組みは。

A 海外への販路開拓は農水産品の生産者をはじめ六次産業化に携わる事業者の所得確保・向上を図っていくためにも不可欠な戦略であります。当市でも長いもをアメリカへ輸出し、ほっき貝を香港、マレーシアにサンプル輸出するなど、海外輸出に向けた動きが見られております。今後も増加が予測される海外輸出の需要に対応していくためにも、関係機関との連携を図り、海外輸出に向けた支援体制について、検討して参ります。

Q 特区における英語教育の状況と推進について

A 児童を対象にアンケートでは「英語活動の学習は楽しい」と回答がありました。また、市内中学校2年生の英語は、県の平均を大きく上回り、中学校の英語力も高い水準となっております。

今後は新学習指導要領を踏まえ、三沢という地域の特性を活かし、指導内容や指導方法の見直し・改善を行い、また、中学校3年生を対象に英語検定3級受験を原則とした検定料全額補助（1人1回）を実施し、「教育課程特例校」として英語教育をさらに推進して参ります。



遠藤　泰子　議員

Q 三沢市が健康都市宣言した後の取り組みについて伺う。

A 健康に関わる取り組みとして「みさわよいとこ体操」「健康ポイント事業」「PET―CT健診の助成」「広報みさわに食生活改善のための連載」「市民ウォーキング」「院内公開講座」などを実施しています。

Q これまでの健康に関する取り組みの成果と今後どのように事業展開するのか。

A 健康に関わる関係部署が意識を持って取り組んでおり、市民の間に健康意識が浸透してきているものと考えています。今後は、ウォーキングマップを活用する計画があり、関係部署と連携しながら市民の意識向上と行動の推進につなげて参ります。

Q 国民健康保険加入者の人間ドックの取り組みについて、三沢市の健診率は近隣自治体と比較し低いと思うが、どのような状況なのか伺う。

A 人間ドックは各自治体が独自に実施しており受診率の比較は困難であります。今後は、人間ドックの周知方法や受診しやすい取り組みについて検討して参ります。

春日　洋子　議員

Q「三沢市高校生議会」に関する所感と、今後の開催について

A 高校生の意見を直接聞く貴重な機会を得られ、また参加した高校生にとっても、市の施策事業や議会制度などを実践的に学び、市役所や議会についての理解が深まる良い機会になったのではないかと考えております。今後の「高校生議会」については、よりよい形で実施する方向で検討して参ります。

Q「市民マラソン大会」の開催の考えは。

A 三沢市体育協会や陸上協議会などと協議を重ね、魅力あるマラソン大会ができるか検討して参ります。

Q 市民の健康増進・受診率向上の取り組みについて

A 健康カレンダーほか健康診断希望調査票も併せて先進事例の情報収集を行い、検討して参ります。

Q 小・中学校における「がん教育」について

A 国や文部科学省の動きと連動し、教育活動全体を通して、健康教育や命の大切さを学ぶ教育の充実を図って参ります。

議長の主な公務を紹介します

1月5日　三沢市新年互礼会（市内）
8日　三沢市成人式（市内）
10日　三沢市商工会新年会（市内）
11日　三沢ライオンズクラブ新年互礼会（市内）
13日　三沢市連合町内会新年親睦会（市内）（副議長が代理出席）
13日　日米新年会（市内）
14日　三沢市管工事協同組合新年会（市内）
15日　三沢市消防出初式（市内）
16日　協同組合三沢建設業協会新年会（市内）
17日　全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会（東京都）
18日　三沢市体育功労者等表彰式（市内）（副議長が代理出席）
21日　第5回日米交流ＭＩＳＡＷＡアイスホッキー２０１７（市内）
22日　第1回県南地方学年別少年柔道大会（市内）
23日　三沢市老人クラブ連合会新年会（市内）
26日　公益社団法人三沢青年会議所新年会（市内）
28日　大三沢婦人会新年会（市内）
2月1日　三沢市と三沢基地米軍との連絡協議会定例会（基地内）（副議長が代理出席）
1日　全国市議会議長会基地協議会第87回理事会及び第80回総会（東京都）
2日　全国広域連携都市議会協議会第48回総会（東京都）
3日　三沢建築組合定時総会懇親会（市内）
4日　三沢市連合ＰＴＡ研究大会・「ＰＴＡの集い」祝賀会（市内）
10日　青森県市議会議長会第3回定例会（八戸市）（副議長が代理出席）
10日　三沢市少年少女文化優秀賞等表彰式（市内）（総務文教常任委員会委員長が代理出席）
23日　上十三地区自衛隊入隊予定者激励会及び祝賀会（市内）
25日　相場博氏黄綬褒章受章を祝う会・株式会社青建設計創立45周年記念祝賀会（市内）
28日　青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会（青森市）
28日　種市篤暉君　千葉ロッテマリーンズ入団激励会（市内）
3月1日　青森県立三沢商業高等学校第52回卒業証書授与式（市内）
1日　青森県立三沢高等学校第61回卒業証書授与式（市内）（副議長が代理出席）
11日　第18回国際子どもアイスフェスティバル（市内）
17日　三沢市特産品開発商品発表会（市内）
22日　三沢市グリーン・ツーリズム推進協議会通常総会（市内）
23日　市退職者送別会（市内）
25日　三沢市連合婦人会定例総会（市内）
30日　都市計画道路3・4・3号中央町金矢線開通式（市内）

委員会活動

民生常任委員会

3月1日開催

「三沢市環境基本計画について」

三沢市環境基本計画は、市民、事業者、行政の協働により、三沢市の目指す環境像の「自然と調和し未来を拓く快適なまち　みさわ」の実現に向け、４つの基本目標を掲げ、44の環境施策、54の個別施策で構成されています。平成27年度の実施状況について調査し、目標を達成したものを「A」、未達成だが初年度より向上したものを「B」、未達成で初年度より低下・横ばいのものを「C」とし評価を行った結果、A評価が33事業、B評価が10事業、C評価が8事業、A評価の内3事業が事業終了でした。現在の計画は来年度で終了となることから今後の計画について調査しました。次期計画は、現計画を継承しつつも、三沢市環境審議会や民生常任委員会の意見を踏まえ、市民により分かりやすい、目に見えた指標を設定し、各種施策の評価ができるような計画を策定したいと考えているとの説明がありました。委員からは、評価項目の設定が目標とそぐわないところがあるのではないか、また、ごみ問題やリサイクルなど身近な環境教育を学校などへ出前講座を実施する考えはないかなどの意見があり、市からはできる限り次期計画に取り込むよう検討していきたいとの回答がありました。

基地対策特別委員会

3月8日開催

昨年7月と11月に実施した平成28年度三沢基地周辺対策に関する要望10項目の進捗状況について、執行部から説明を受けました。その結果、今年度で終了予定の再編交付金については、来年度以降は「再編関連訓練移転等交付金」として、平成29年度から10年間交付される予定となったことは大きな成果であり、その他にも東北防衛局が発注する工事の市内業者の受注が件数、金額ともに増えていることや基地交付金、調整交付金の増額など、一定の成果を得たところであります。一方で、第2滑走路の早期着工や地域の実情に応じた移転措置、住宅防音工事の実施件数の減少など、なかなか前進がみられない項目も多数あることから、今後もそれぞれの課題の早期実現に向けて、粘り強く活動を継続して参ります。

要望項目

（1）三沢飛行場第2滑走路の早期着工について
（2）住宅防音工事に係る制度等の是正について
（3）地域の実情に応じた移転措置について
（4）特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額について
（5）再編交付金の交付期間の延長について
（6）生活環境施設等整備に対する支援について
（7）航空機騒音の規制措置について
（8）基地周辺住民対策の充実について
（9）地域振興に対する支援について
（10）基地交付金及び調整交付金の改善について

定住化促進対策特別委員会　2月24日開催

2月24日に委員会を開催し、3案件について調査・検討を行いました。

「住宅取得支援事業の実績等について」

平成28年度申請件数は115件、そのうち県外からの移住者が2件、市外からの移住者が20件との説明がありました。委員からは近隣との人口の取り合いではなく県外移住者確保にむけた事業展開をするべき、などの意見が出されました。

「子ども医療費給付事業について」

平成28年度までの子ども医療費給付事業の支払い実績と、次年度において、所得制限を廃止した場合の増額分の説明等がなされ、各委員からは、所得制限廃止に伴う財源確保はどうするのか、などの意見が出されました。

「給食費無料化に係る現状について」

現在の学校給食に要する経費や、給食費負担金の収入額、近隣市町村における給食費無料化の実施自治体などの説明がありました。

各委員からは給食費無料化を含め、多くの自治体において人口減少対策に危機感をもって様々な施策を打ち出しているため、他の事業経費を削減してでも、定住化促進対策に対し力を入れていくべきである、などの意見が出されました。

今後も、三沢市における定住化促進に向けて、市の各種事業の取り組み状況や、近隣自治体での取り組み状況の調査・研究を行い、三沢市の定住化促進に向けて取り組んで参ります。

議会改革特別委員会　1月30日開催

本委員会は、市民の意見を反映した議員活動の活性化、市民に開かれた議会の構築及び効率的で効果的な議会運営を図るため、議会改革を進めていくことを目的として、平成28年第4回定例会において設置され、第1回委員会を開催いたしました。

委員会では、今後の取り組みについて協議し、今後における議会改革の第一歩として、三沢市議会基本条例を本委員会の設置期間である平成30年3月末を目途に制定することを目指し、先進自治体の視察調査も踏まえながら協議を進めていく方針を確認いたしました。

議会基本条例とは

議会基本条例は、地方議会の最高規範ともいえる条例であり、議会と議員の活動原則や市民参加を推進することなどを明文化したものです。

市民の意向を的確に反映し、市民に開かれた議会、市民に信頼される議会を構築し、市民福祉の向上、市勢発展に寄与すること等を目的としており、平成18年に北海道栗山町が全国に先駆け制定し以降、全国的に制定が進んでいます。

視察報告

私たち議員は、市行政の参考とするため、調査・研究を目的とした先進地への行政視察を行っています。行政視察は、委員会として行う委員会視察、所属する委員会の所管にとらわれることなく類似都市や先進自治体等の現地視察を行う議員個人研修視察があります。

※平成29年1月以降に行った視察については、視察報告の詳細（復命書）を三沢市議会ホームページに掲載しております。
※委員会視察参加者の委員長は◎　副委員長は○の表記。

視察先

委員会視察

■宮崎県新富町　■山口県岩国市　■石川県白山市　■石川県七尾市
■茨城県小美玉市

議員個人研修視察

■千葉県君津市　■宮城県気仙沼市

基地対策特別委員会視察　宮崎県新富町・山口県岩国市

日程　2月8日から10日まで

参加者
◎堀　光雄　○西村盛男
田嶋孝安　下山光義
加澤　明　舩見亮悦
山本彌一　森　三郎

視察内容

宮崎県新富町

「騒音区域の見直しについて」

新田原基地では、平成26年から騒音度調査を行い、現在、国から騒音区域の見直しの素案が示されたところです。見直し案では、第2種区域が若干拡大されているが、第1種区域が大幅に縮小されており、町全域を防音工事の対象とする町の要望とは大きくかけ離れた結果となっていることから、議会としても、今後、議会報告会などを通じ、どのような行動をとるべきか検討していくとのことでした。

山口県岩国市

「F―35Bの配備について」

F―35Bの配備については、平成25年に日本に配備することとされていたが、平成28年8月、正式に岩国基地に配備することが伝えられました。それを受け、岩国市では、市長が現に配備されている米国ユマ基地を視察し、騒音等を確認するなどして、配備容認を発表しましたが、その直後、米国で同型機の事故発生の連絡があり、容認を一旦保留した経緯があるとのことでした。その後は、国が市長、議会に説明を行い、容認を決定したところですが、市民の反応は反対の意見はほぼ聞かれなかったとのことでした。

三沢基地でも平成30年3月からF35―Aが順次配備されることから、今回の調査を参考に基地対策充実を図って参ります。

広報委員会視察報

石川県白山市・七尾市

日程

2月15日から17日まで

参加者

◎瀬崎雅弘　○田嶋孝安
佐々木卓也　加澤　明
西村盛男　春日洋子
山本彌一

視察内容

石川県白山市

「白山市議会だよりについて」

白山市議会の「議会だより」は、平成27年に18歳選挙権導入に伴い、誌面のリニューアルを実施しました。主な改正内容は、掲載記事の再検討、掲載内容をコンパクトにまとめ視覚に訴える等です。その成果があり、近畿市町村広報誌コンクールにおいて2年連続で優秀賞に選ばれています。また、町内会長を経由し全世帯に配布していました。

今回の視察成果と昨年実施したアンケート調査を踏まえ、三沢市議会だよりの充実を図って参ります。

石川県七尾市

「ケーブルテレビによる議会中継及び録画放送のホームページへの公開について」

七尾市のケーブルテレビは、平成16年に1市3町が合併した際に、市と議会が協議し、議会中継を開始しました。議会中継は、基本的に開会から閉会までを生中継し、録画放送は、1日5回放送しているとともに、ホームページへ動画配信していました。なお、開局時に機材・設備に約1千万円強の経費を投資したとのことでありました。

三沢市議会では、これまでマックテレビでの議会放送について検討を重ねてきましたが、開かれた議会を目指し今後更なる検討を実施して参ります。

七尾市の遠隔による議場撮影システム

議会改革特別委員会視察

茨城県小美玉市

日程

2月21日から22日まで

参加者

◎小比類巻　雅彦　○春日洋子
佐々木卓也　瀬崎雅弘
加澤　明　西村盛男
山本彌一　堤　喜一郎
太田博之（副議長）

視察内容

茨城県小美玉市

「議会基本条例について」

小美玉市議会では策定委員会で検討した内容を全員協議会で報告し、意見を集約するという形をとり、外部講師（茨城大学准教授）に策定委員会に出席してもらい、アドバイスを受ける体制を整え、委員会内の意見集約に努めたとのことでした。

また、市民の意見も参考とするため、パブリックコメントの実施と市民説明会を開催し、市民の声も聞き、策定の参考としたとのことでした。

小美玉市議会基本条例では議会報告会について年1回以上開催すると明文化しており、実際に平成27年度と平成28年度に1回づつ開催したとのことであり、参加者（市民）数は平成27年度は99名、平成28年度は85名で市民から様々な質問、意見が交わされたとのことでした。

市議会の最高規範となる議会基本条例であることから、策定にあたっては、市民の皆様からの声を拝聴しながら、慎重に検討を重ね、委員間の活発な議論により意見集約を図り、三沢市の議会基本条例の策定に向け、取り組んで参ります。

個人研修視察　千葉県君津市

日　程
1月23日から24日まで

参加者
瀬崎雅弘　加澤　明
太田博之　堀　光雄

視察内容

千葉県君津市「君津市英語教育推進事業について」

当初、君津市役所において教育委員会学校教育課の担当者から英語教育推進事業の事業説明を受け、その後、君津市立八重原小学校5年生の英語授業を視察しました。

君津市は、家庭・地域・学校・行政の協働による教育を推進しており、5つのビジョンと家庭・地域・学校の12の宣言のもと45の主要事業を展開しています。君津市の英語教育推進事業は、学校の宣言のうち「郷土を愛し、国際感覚を身に付けた子どもを育てます。」の宣言により、きみつ教育　創・奏五か年プランを作成し、英語教育推進事業を推進しています。このプランは、君津市独自の英語教育の目標と手順を示した計画であり、5年を単位とする君津市独自の英語教育中期プランであります。

このプランでは、君津市独自の君津版英語検定を実施するとともに業務委託によるＡＬＴを派遣した英語教育を実施していました。八重原小学校での英語授業ではＡＬＴ1名による会話を主体とした授業を実施していました。特に、児童全員が会話を主体とした場の設定など積極的に授業に取り組んでおり、児童はのびのびと授業を受けていました。三沢市でも英語教育を推進していますが、君津市と同様な三沢版英語検定の実施や業務委託によるＡＬＴの派遣など英語教育推進事業の更なる向上のため意見等提言したいと考えます。

八重原小学校
英語授業の様子

個人研修視察　宮城県気仙沼市

日　程
1月27日から28日まで

参加者
佐々木卓也　小比類巻雅彦
舩見亮悦　馬場騎一
山本彌一　森　三郎

視察内容

宮城県気仙沼市「観光の戦略的展開について」

気仙沼市では、地域全体が潤う方策「気仙沼版ＤＭＯ」の構築に取り組んでいます。「ＤＭＯ」は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人であり、観光地域づくりを推進するために大変有効な手段と考えられています。

地域資源や地域の人材を活用した観光ビジョンを明確にし、地域ならではの観光コンテンツの充実やデータベースの構築・活用、更には、観光という枠を越えて市全体の地域づくりという観点から、多くの市民の参画を得て戦略が進められている気仙沼市の取り組みは、人口減少時代にあって観光振興による交流人口の拡大や地域の活性化が喫緊の課題となる中、既存の観光資源の磨き上げや新たな資源の掘り起こし等により効果的な観光振興に取り組んでいる三沢市にとっても大変参考となる内容であり、今後の観光振興や地域活性化に活かして参ります。

気仙沼市　観光施策ちょいのぞき体験
（函屋体験）を実際に体験している様子

三沢市議会だより きずな
2017.5.1.No.41

傍聴してみませんか

議会では、市民生活に直結した重要な問題が審議されています。市民の皆さまが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお越しください。

なお、傍聴席は50席と限りがありますので、団体等で傍聴される方は、事前に議会事務局までご連絡ください。

議会事務局　☎53－5500

「きずな」についての皆様からの声をお聞かせください。

三沢市議会だより「きずな」について、お気づきの点や、ご意見・ご感想などありましたら、お気軽に下記メールアドレスにメールをお送りください。

皆様の貴重な声を反映させ、市民との「きずな」と議会へのご理解がより深まるよう努めて参ります。

三沢市議会代表　メールアドレス
msw_gikai@misawashi.aomori.jp

請願・陳情の提出方法

市民の皆さまの要望を市政に反映させる方法のひとつに請願や陳情があります。議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」といいます。提出された請願や陳情は、それぞれの委員会で慎重に審議され、採択されたものは、市長にその実現を要望したり、関係機関等に対し意見書や要望書として提出されます。

提出に必要な記載事項

(1)請願（陳情）の名称
(2)請願（陳情）の趣旨と要望事項
(3)請願（陳情）者の住所、氏名、押印（2名以上の場合は、代表者名をお書きください）
(4)請願として提出する場合には、紹介議員の署名または記名押印
(5)提出年月日
(6)宛名（三沢市議会議長あて）

（表紙）

○○に関する請願（陳情）書
提出者　住所
氏名
紹介議員○○○○印

（本紙）

○○に関する請願（陳情）書
1　要旨
2　理由
以上のとおり請願いたします。
平成　年　月　日
住所
氏名
三沢市議会議長　○○○○　殿

提出場所

三沢市役所本館4階の議会事務局に持参してください。

受付締切

請願については、原則、定例会の運営を協議する初回の議会運営委員会の前日まで、陳情については、招集告示日が締切となります。なお、締切後に提出されたものについては、次の定例会での扱いとなります。

受付時間

平日8時15分～17時00分

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎53―5500

広報委員会では、議員の声、議員の手で広報誌を発行し、市民の皆様に議会のさまざまな活動をお伝えしております。

また、広報誌の発行のほかに議員のホームページ、その他広報に関すること全般に取り組んでおります。

広報委員会委員

委員長　瀬崎雅弘
副委員長　田嶋孝安
委員　山本彌一
春日洋子
西村盛男
加澤明
佐々木卓也

三沢市議会だより きずな は13,000部発行し、1部あたりの印刷製本費32円です。

三沢市議会だより　きずな　発行：三沢市議会　編集：三沢市議会広報委員会　〒033-8666 三沢市桜町1丁目1番38号　Tel. 0176-53-5500